

令和7年度（2025年度）第3回北区まちづくり懇話会 会議録

【日 時】 令和8年（2026年）3月26日（木）  
午前10時～11時30分

【場 所】 北区役所2階第2～4会議室

【出席委員】 岡 順子、関 智弘、廣永 芳伸、徳永 親、堀 史、  
井村 ユリエ、一安 明子 以上7名（敬称略）

【傍聴者】 1名

【会議次第】 1 開会  
2 会長挨拶  
3 説明及び審議事項  
（1）重点取組について  
（2）重点取組に対する取組実績について  
① 地域活動の担い手の確保  
ア 地域×企業×学校で支える未来の担い手づくり  
イ 地域×企業×学生による高齢者向け活動  
② 在住外国人との共生  
ア 外国人のための自転車の安全な乗り方教室  
イ 相互理解から広がる、外国人も参加する地域活動  
4 区長あいさつ  
5 その他  
6 閉会

## 1 開会

## 2 会長挨拶

今年度最後のまちづくり懇話会となるが、次年度の取組に活かせるよう、今回も懇話会の中で忌憚のない意見をいただきたいと思う。

## 3 説明及び審議事項

### (1) 北区の重点取組について

《事務局から、資料1「北区まちづくりの取組」について説明》

### (2) 重点取組に対する取組実績について

《事務局から、資料2「北区集談会」について説明》

#### ① 地域活動の担い手の確保について

ア 地域×企業×学校で支える未来の担い手づくり（植木まちセンより説明）

イ 地域×企業×学生による高齢者向け活動（清水まちセンより説明）

（堀委員）

ルーテル学院高校の活動には興味がある。他の取り組み事業はあるのか。

（清水まちセン）

毎年公募でメンバーを募り、いくつかのグループに分かれて活動をしており、区役所に見立てて「地域振興課」「福祉課」を作り、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。

TSUTAYA 書店でこどもたちの宿題を手伝ったり、肥後銀行と共同で夏祭りに取り組んだりしている。

今回は「福祉課」の取り組みとなった。北区内で何か取り組みをしないか持ちかけたところ、民生委員との話し合いがきっかけで今回の事業実施に至ったところ。

（堀委員）

メンバーは何人くらいいるのか。

（清水まちセン）

全体で40名弱。今回は、福祉課のグループ6名で事業に取り組んだ。

新年度も活動があれば、引き続き学生とのつながりは続けていきたい。

（岡会長）

『ルーテル区役所』というネーミングも良いし、取り組み自体も地域振興という視点でも良い取り組みだと感じた。

（岡会長）

植木まちづくりセンターの取り組みでは、更に若い小学生を対象にとのことだが、具体的な事例はあるか。

(植木まちセン)

学校から企業訪問を行ったり、企業から学校に講師を派遣されたりしている。また、北区の校長会で企業から経営学について話をさせていただいた。

子どもたちにとって、体験も重要な取り組みとなるため、企業と子どもたちが触れ合う場の創出にも力を入れている。企業からは、地域の祭り等への出店や協賛金出資などの貢献をされている。

(一安委員)

活動をするにあたって保険などが必要になるかと思うが、今後の費用はどうか。また、今後の企業との事業連携の見通しについて伺いたい。

(植木まちセン)

地域と企業等のマッチングについては、費用はかかっていない。

今後は、企業側が予算を確保していただくとのことだった。予算の確保が難しい場合は、人材支援等をされる予定。

(清水まちセン)

ルーテル学院高校については、学校活動の一環なので行政側からの資金援助は行っていない。

行政主催のものについては、必要であれば、ボランティア保険等を考えておく必要があると思うが、基本的には主催側で検討・確保するようお願いしていきたい。

(岡会長)

2つの事例を踏まえて、今後もっと取り組んだ方が良いということがあればご意見をお願いしたい。

(廣永委員)

de could (デクッド) 立ち上げの前は保育士を30年していた。

植木町と合併してすぐの頃、植木地域の保育園に8年間勤務していた。地域性(大人たちの繋がり)が強いと感じていた。当時は、イベントがあると保育園でも出し物をしていたし、校区毎のまとまりも強かった。当時、子どもたちに絵を自由に描いてもらおうと、市中心部の子どもたちはポケモンなどのキャラクターを描いたりするのに対して、植木地域の子どもたちはスイカの絵を描いたりする。そういうところがとても良いなと思った。

次のことについてお尋ねしたい。

- ① 「はってん祭」など当時あったお祭りはまだ残っているのか。
- ② 小学生を対象としてあるが、中学生も対象にして、以前あった音楽会等競い合うような催しも残してほしいと思っている。
- ③ 北区にある高校は熊本北高校のみになる。北高生を巻き込んでいくのも良いのではないかと思うが、今後の計画はあるのか。

(植木まちセン)

- ① 合併前に行われていたものは、地域で引き続き実施されているものもある。  
自治会と保育園のつながりはある。また、小学生については、地域のイベント、田原坂ウォークラリーや戦没者追悼式への参加もある。
- ② 次年度以降、保育園児から中学生、また保護者へも働きかけを行い植木町の発展につなげていきたい。

(清水まちセン)

③ 熊本北高校には、毎月まちセン便りを手渡ししており、顔の見える関係を構築している。清水地域で何かする際は声かけをしてほしいと言われている。

また、城北小学校からは、ふれあいまつりを開催する際には、北高生を巻き込んでいきたいとのことだったため、今後、積極的に関わっていきたい。

(徳永委員)

高校生が大学受験や就職するとき等、ボランティア活動の実績は印象が良いと思う。

ルーテル学院高校でもそういう背景があるのか。また、北高にも勧めてはどうかと思う。

ボランティアの経験は大人になっても大事だしとても良いことだと思う。

(清水まちセン)

「ルーテル区役所」では、動機は何であれ、参加をしてみて何か感じる事が大切であるという考え方である。これまでの学生生活では、地域活動に関わることはないが、この活動を通して、自分が住んでいる地域でも何か行動をするきっかけになってくれたら良いと考えている。今後も連携していきたい。

(事務局)

北区総務企画課長は熊本北高校の学校運営委員であり、学校長も北区唯一の高校であるというご認識であることから、北区の取り組みには協力をしていただいている。今年度は、北区こどもまつりへのダンス部の参加や、北区の公式Instagramを在校生にもPRしていただいた。郷土愛を育むためにお互い協力して取り組んでいるところ。

(岡会長)

取組が広がっていて心強いと思っている。

(一安委員)

ささえりあ武蔵塚では、以前、龍田まちセンと一緒に北高ボランティアサークルに参加してもらったため訪問したことがある。コロナ禍でもあったため活動が実現しなかった。

高齢者の方は、移動、日常の買い物など課題がある。ヘルパーによる買い物支援（介護保険適用）では、買物をしてくれるヘルパー自体が不足している。これまで、ごみ出し等近所付き合いで解決していたものが今は難しい状況。

高校生や大学生の力も借りたいと考えているところ。ささえりあ単体で動くのは難しいため、区役所やまちづくりセンター、懇話会委員の力を借りて実現出来たら嬉しい。北区外からの通学生もいるので、自分の住んでいるフィールドで活躍できるようになったら良いと思う。

(吉住区長)

集談会とは、自主自立のまちづくりを区役所としてバックアップするためのものである。

まちづくりセンターには地域担当職員、保健こども課には保健師が配属されており、地域に積極的に入っていている。地域によって悩みは異なるが、共通の課題として、担い手不足、高齢化や在住外国人との共生がある。

私たち職員は、地域の自治会役員だけではなく、一般の地域住民の中に入り、たくさんの声を聞くことで地域課題を解決している。地域のイベントを通じて顔の見える関係を作り、地域と企業をつなぎ将来の担い手を作り、地域力の向上をゴールとしている。

(岡会長)

地域の課題を解決するためには担い手の育成が大切で、交流人口を増やしていくことが課題である。そこに一般の住民にも参画してもらうことが、地域力を底上げしていくということに繋がる。

一安委員には、区役所の地域担当職員等と一緒に課題解決に向けて取り組んでいただければと思う。

## ② 在住外国人との共生について

### ア 外国人のための自転車の安全な乗り方教室（北部まちセンより説明）

#### イ 相互理解から広がる外国人も参加する地域活動（龍田まちセンより説明）

（関副会長）

イベント等地域活動に参加することで繋がりが出来ていくのだと感じた。

外国人の方が困ったこと等あった場合、相談する窓口は一本化されているのか。

（北部まちセン）

まちづくりセンターに連絡をしてもらい、必要があれば各部署につないでいる。

（関副会長）

最初の相談窓口は、まちセンに連絡があるということで良いか。

（北部まちセン）

相談の内容にもよるが、連絡先としてはまちセンで構わない。

担当部署へ繋いだり、解決に向けて一緒に動いたりしている。

（関副会長）

相談する窓口が分かるような案内は提供されているのか。

（北部まちセン）

している。

（関副会長）

窓口がしっかりしていれば外国人の方は安心だと思う。

イベント等に参加している外国人は、企業に勤めている方なのか。

（北部まちセン）

企業の方が主ではあるが、北区公式 Instagram を通じて参加される方もいる。

（龍田まちセン）

台湾の方のみが住んでいる集合住宅へ外国語版のチラシをポスティングしている。

また、日本語学校生徒の外国人の方へは学校を通じた周知を行っている。

（関副会長）

企業への周知は确实だが、企業以外の方へ情報が届かない場合があると思う。そういう方にはチラシのポスティングは有効だと感じた。

（徳永委員）

「外国人」という言い方自体に日本人が壁を作っていると感じる。

新しい呼び方を作り出すと良いなと思うがいかがか。

（吉住区長）

呼び方については、今後検討させていただきたい。

外国の方がルールを守らないと良く聞かすが、マナーやルールが異なることから止むを得ない

部分はあると感じている。日本にいる間は、地域のイベント等を通して日本のルールを知っていただく機会を作りたいと思っている。

(井村委員)

発表があった事例について、今後も続けていただきたいと思う。

こども食堂を毎月開催しており、誰でも参加して良い場となっているので、作成された交通ルールに関する動画を披露して、こどもたちや外国の方にも覚えてもらえたら良いと思う。

動画はこうしたら見る事ができるのか教えていただきたい。

(吉住区長)

地域担当職員が間に入っていきたい。こども食堂の中で外国人の方も一緒に見ることができれば良いと思う。

今回の動画は、内閣府事業で作成したもので、「特定非営利活動法人 介護予防で日本を元気にする会」のホームページで見ることができる。

<https://kaigo-yobo.net/> (介護予防で日本を元気にする会)

(一安委員)

外国の方への自治会加入に関する案内方法と外国人の自治会加入状況を分かる範囲で教えていただきたい。

また、市の情報を取得する方法を知りたい。スマホは持っている方がほとんどだと思うが、Instagram や熊本市 LINE 等色々ある中、どのツールを案内しているのか。

(区民課長)

外国人の方が転入される際の案内は、手続きに個人で来る方や企業の方に付き添われて来る方がいるが、企業の方と一緒に場合が大半である。

自治会加入やごみ出しに関する案内情報を入れた「転入セット」をお渡ししている。

(総務企画課長)

外国人の方の自治会加入率は把握していない。

情報取得ツールについて、熊本市ホームページや公式 LINE が主となっており、それぞれ多言語対応をしている。

国際交流会館でも情報提供や相談対応等おこなっており、ホームページ、LINE、Instagram などでも情報発信を行っている。

(吉住区長)

主となるのは、外国の方が勤務する企業からの情報だと思う。困りごとなどがあれば、地域担当職員や担当保健師が積極的に入り案内していきたいと思う。

(一安委員)

ぜひ、外国の方にも自治会に入ってもらえると地域が活発になって良いと思う。

(徳永委員)

資料2について、集談会2回目の参加者の方が1回目よりも少なくなっているのはなぜか。

(吉住区長)

2回目は、急遽、衆議院選挙があったため、決定していた日程を変更した。そのため参加することができなかった企業があったもの。集談会へ参加された企業は、企業同士連絡を取り合

い繋がりが広がったと聞いている。

(岡会長)

2回とも集談会に参加したが、地域の情報が欲しいという企業がたくさんあった。効果的な会だと思う。

(岡会長)

交通安全教室で出された小学生の意見がきっかけとなったとのことだが、意見をくれた小学生へはどう返答したのか。

(北部まちセン)

取り組みについては、Instagramに投稿をしており、また、校長先生を通じて回答させていただいている。加えて、先日、小学校に行った際、意見をくれた小学生に会ったため、動画を見せて直接報告することができた。その小学生が「西里にもっといろいろな人が住んでもらえるように僕も頑張ります。」と言ってくれてとても良かった。

#### 4 区長あいさつ

2年間北区長を務めさせていただいた。1年目は、北区全体の校区自治協議会長と共通の課題について話し合い、2年目は集談会を通して、企業と地域、学校をつなぐことができたと思っている。また、今後の地域の担い手を作ることを目標に取り組んできたところ。この行動が正解かどうか今は分からないが、一步一步の積み重ねで今後の地域が変わってくると思っている。

国勢調査の速報値によると、平成27年をピークに人口減少が進んでいる。今後は更に減少していくことが見込まれる。

次年度はPTAや今後地域を担っていく方に多く参加してもらえるよう、校区毎に集談会を開催する予定。各まちづくりセンターが中心となり、集談会から地域の交流を深めて、地域力の向上につなげていきたい。

#### 5 その他

・次回開催について

7月開催予定。詳細は後日連絡

#### 6 閉会